

# 13 (土)

## 敵を愛する

マタイによる福音書五章43〜48節

しかし、私は言っておく。敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。(44)

「隣人を自分のように愛しなさい」(レビ一九18)とは、律法の最も大切な教えでした。これに対して主イエスは、隣人だけでなく、敵をも愛しなさいと命じられました。これは世間一般の人々に語られているものではありません。神によって救い出された私たちキリスト者に対して語られているものです。ここには、「神の敵であったあなたがたも、キリストの十字架の愛をもって愛されたではないか」というメッセージが隠されています。私たちに注がれた神の愛について、使徒パウロも「敵であったときでさえ」(ローマ五10)と語ります。私たちが敵を愛することの力の源は、敵であったこの私を神がまず愛してくださったという事実にあります。キリストの命がけの愛を受けた私たちは、私たちに敵対する人々のために、まず祈ることから始めようではありませんか。